

浄化槽出前講座を開催しました！

下水環境課

下水環境課では、浄化槽などの污水处理施設の普及啓発を通して環境教育活動への支援を図ることを目的として、平成21年度から公益社団法人岩手県浄化槽協会と連携して小学校等を対象に浄化槽出前講座を開催しています。

出前講座では、「水の循環と水の大切さ」や「污水处理施設の役割や仕組み」について説明しており、種々の微生物を映像や顕微鏡で見たり、浄化槽の流入水や処理水の臭い等の違いについて体験していただいています。

今後も「水の循環と水の大切さ」を子供たちに伝え、污水处理施設の普及率と水洗化人口割合の向上につながるよう普及啓発に取り組んでいきます。

＜浄化槽出前講座の開催状況＞

年度	学校数	受講人数
平成21年度	4校	59名
平成22年度	4校	58名
平成23年度	2校	54名
平成24年度	4校	57名
平成25年度	7校	119名
平成26年度	11校	127名
平成27年度 (8月時点)	9校	83名
合計	41校	557名

平成25年度より浄化槽から採取した微生物の顕微鏡観察を実施したところ大変ご好評をいただき、出前講座の申込み数が増加しました。

また、小学校の先生方の要望を受けて昨年度からは下水汚泥利用製品のサンプルの紹介もしています。

出前講座がよりわかりやすく、多くの方にご利用いただけるよう努めています。



「水の循環と大切さ」などについて、現地の浄水場や浄化センターなどの写真を用いて説明し、児童に質問などしながら講座を進めました。



浄化槽の模型を使用して、污水处理の仕組みや使用上の注意等について詳しく説明しました。

「自宅にある浄化槽はこのような仕組みになっていたのか」と児童だけでなく先生方も感心していました。



浄化槽の流入水と処理水の色の違いを比較したり、臭い等について体験していただきました。

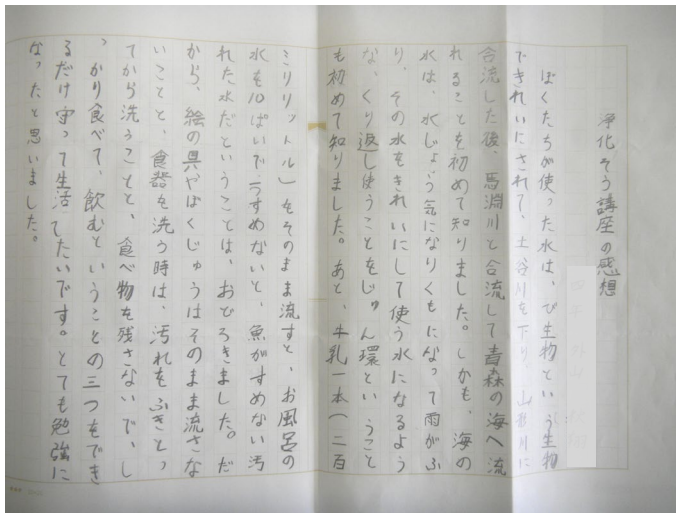
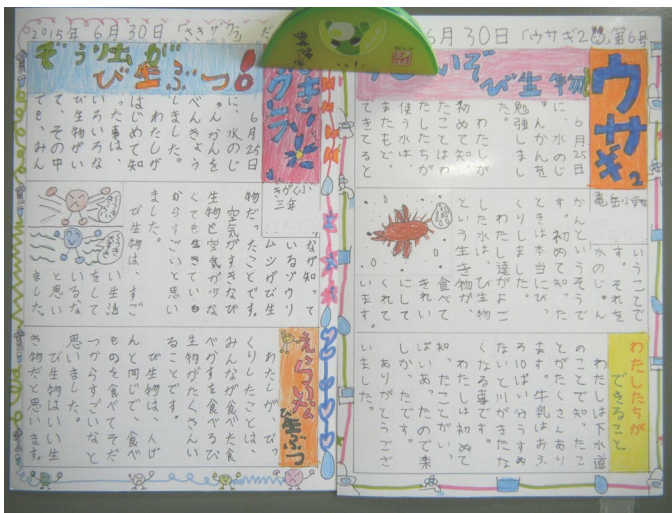
流入水の臭いを嗅いだ児童は「くさい」と飛び上がって鼻を押さえていました。その後、処理水の臭いを嗅ぐと悪臭がほぼ消えていることや色が透明になっていることに驚いていました。

浄化槽から採取した微生物を顕微鏡で観察していただきました。

微生物の観察に児童は非常に興味を示し、目に見えないぐらい小さな生物の力で下水の汚れをきれいにしていることに驚いていました。

＜浄化槽出前講座を受講した児童からの感想文＞

浄化槽出前講座を受講した児童の皆さんから感想文をいただきました。いただいた感想文の一部は県土整備部情報掲示板に掲示予定です。



○感想分の内容を一部抜粋

- 微生物がよごれを食べてくれている初めてして、びっくりしました。
- 水の汚れを少なくするために、絵具や墨汁はそのまま流さないこと、汚れをふき取ってから食器を洗う事、食べ物を残さない事の3つを守って生活したいです。
- お母さんに食器を洗うときには油を流さないでとちゅうこくしておきます。
- 海がよごれてしまうと生き物もいなくなってしまうので、結局こまるのはわたしたちだから努力したいです。